

懐古

八十年

絵と文

金子繁治



⑮【昔の江の島棧橋】

海あり山あり川もあり、もう一つ自慢は江の島がある。小学五、六年頃になると生意気盛り。足の立つ海岸ではもう泳がない。江の島っ子の誘いもあって、泳ぎ場は江の島の西浦や東の磯、そして稚児ヶ淵へと広域化。

ここで困ったことは渡橋料二銭。観光客でもないのに本村の子供からも取る。よし、それなら橋の橋脚から登るとしよう。だが太い丸太の橋脚は貝殻や海藻がびっしりでよく滑る。生傷だらけで汐水が浸み込んで痛い。

今では昔の棧橋が懐かしい。私にとっては今様の体力増強用具でもあったし、私と共に遊んでくれた友でもある。年をとり今また苦闘の棧橋だが足が止まること、昔の棧橋を思い出して感無料、おっと無量である。(完)